

## 「西條」

令和6年度 第4号

生徒の学びと成長 ～合唱コンクールを通して～

研究主任 吉國 京子

毎日新しい学びに挑戦し、多くの成長を見せてくれる生徒、目標や課題に向かって全力で頑張る姿を見ていると、私は本当に幸せな気持ちになります。生徒が主体的に学ぶことで、より大きな達成感や充実感を感じ、次の学びへのやる気につながるように、私たち教師には伴走する姿勢が大切です。そこで身に付けた課題発見や解決する力は、一人一人の生徒が、生涯にわたって挑戦し続ける姿につながると思います。

10月に行われた、合唱コンクールにおける生徒の学びの様子を、紹介します。

**① 学びに向かう力**

1学年では、まず昨年度の合唱コンクールの動画を視聴しました。「これが中学生の合唱なのか!」「当日10人欠席しても、ものすごい迫力!」などのつぶやきはどんどん大きくなり、「合唱コンクールで自分たちも歌ってみたい」「最優秀賞をねらおう」という意欲を高めていました。各学級で、指揮者、パートリーダー、学級スローガン、練習の約束事項等を話し合い、練習をスタートさせました。

**② 効果的に学ぶための方法や工夫**

「合唱ノート」が一人一冊配付され、毎日の合唱練習の計画や具体的な練習方法を書き込みました。毎日、各学級でその日の目標や練習方法を確認し、練習をスタートさせていました。また、「自分たちにはこの練習方法が合っていたのか」「これはできたから、次はこうしよう」「外で歌ってみたらどうだろうか」「先生に動画を撮ってもらおうか」「上手い人が前に出て歌おう」など、生徒自身が考えた練習が展開されていました。生徒が考えた練習方法だからこそ、その練習が上手くできなかったとしても、「次はこうしてみよう」など、自分たちで調整する力が高まったように感じます。

**③ 自分を振り返り成長へ**

活動的に展開してきた学びを、振り返ることが、達成感や充実感、そしてさらにその後のやる気にもつながったと思います。自分たちで練習の形をデザインし、自分たちで舵取りをして行った合唱だからこそ、結果がどうあれ、今後の学びにつながる振り返りが生きていくのだと思います。また、その振り返りをするには、自分を調整しながら学びを繰り返すことになり、様々な場で生徒が活用するスタイルとして広がるように思います。



先行きが不透明で予測が困難な時代だと言われます。このような時代を生きる生徒も教師も、常に学び続けていくことが必要です。“目標とその達成のために計画を立て、実行し、結果をもとに振り返り改善する”このサイクルを続けることが、生徒の学びと成長につながるのだと思います。今後も、教職員一同全力でサポートしていきたいと思います。引き続き、温かいご支援をよろしくお願いたします。

# 学校祭を振り返って

せいが いったん  
星河一天

-数え切れない想いで最高の舞台に-

## ◎学校祭の感想より◎

合唱コンクールでは、パートリーダーとして参加しました。初めて自分たちだけで練習をしたので、分からないことが多く、みんなをまとめることができなかつたけれど、この経験を生かして来年も頑張りたいです。また、今回の合唱コンクールを通して、人に聴かせるために歌うことを学びました。一生懸命歌うことはもちろんですが、聴いている人が素晴らしいと思ってくれるように心を込めて歌うことが大切だということが分かりました。  
(1年1組)

合唱コンクールで伴奏をしました。毎日必死に練習に取り組み、本番では練習の成果を発揮することができました。最優秀賞という結果を残すことができ、とてもうれしかったです。吹奏楽の演奏は、先輩と一緒にできる最後の合奏でした。最後だと思うと、寂しい気持ちになりましたが、楽しんで演奏することができ最高の思い出になりました。学校祭をさかいに、先輩たちが引退し、2年生が後輩を引っ張っていかねばいけません。先輩たちの思いを引き継ぎ、頑張っていきたいです。  
(2年3組)

私は、今年の合唱コンクールで全力を尽くすことができよかったです。最初の合唱練習では、クラス全体がまとまらず、不安になることもあったけれど、運動会のようにクラスが1つとなって練習に取り組み、今までにない合唱を作り上げることができました。「吹奏楽部と共に」で、「いのちの歌」を歌いました。私の生活を支えてくれている友達や家族等、たくさんの人への感謝の気持ちを歌に込め、伝えることができてよかったです。  
(3年2組)

## 【合唱コンクール結果】

最優秀賞	学級賞
1年3組	1年3組
2年2組	2年3組
3年2組	3年3組



合唱コンクール1年生



吹奏楽部と共に



合唱コンクール2年生



合唱コンクール3年生



合唱コンクール表彰式



生徒会役員引継式